日本での交換留学

お茶の水女子大学

アトランタ・イーストマン

新型コロナウイルスのパンデミックの状況により、残念ながら10月に交換が始まったときは日本に来ることができませんでした。それでも、状況を生かしたかったので、友達と一緒に計画を立てました。日本の国境が閉鎖されていたので、同じような時間帯の国に行くことにしました。9月末に友達と一緒に韓国に3ヶ月滞在しました。私はこれまでヨーロッパを離れたことがなかったので、新しい国に引っ越すのはかなり不安でした。ロンドンからソウルへの飛行は10時間以上続き、それから私たちはソウルの空港で入国審査を通過しなければなりませんでした。とてもストレスがたまりました！韓国のコロナウイルスの防疫対策により、ホテルで2週間隔離する必要があります。一人で2週間過ごすのはとても不思議でしたが、ホテルを出てソウルを探索することに興奮しました。実際、私は隔離ホテルでお茶大のオリエンテーションに参加をしました。そして、2週間後、ようやくホテルにを出ることができました。

授業を始めたときはとても緊張でしたが、先生もクラスメートもみんなとても親切でした。私は韓国にいる時間を本当に楽しんでいました。私の授業はすべて午後でした。早起きする必要がなかったので、それが好きでした。夕方や休日は友達と一緒にソウルを探索していました。出身大学のSOASの友達がいたので、とても楽しかったです。他大学の韓国人留学生とも友達になりました。悲しいことに、3か月後にビザがなくなり、母国に帰らなければなりませんでした。友達を置き去りにするのはとても腹立たしいことでしたが、少なくとも韓国での良い思い出がありました。私は12月にロンドンに戻りましたが、時差を管理するのは非常に困難でした。私の授業は今午前4時でした！幸いなことに、クリスマスはすぐに来たので、ロンドンにいる間はあまり多くの授業をする必要はありませんでした。春休みを過ぎて

授業が再開されると、日本に入国できなければ絶対に韓国に行きたいです。でもやはり、4 月まで日本に来たいと思っています。

コロナウイルスによる困難にもかかわらず、お茶大での最初の学期は本当に楽しかったです。日本語の授業はとても役に立ち、日本語のレベルは本当に向上したと思います。また、日本文化の授業もとても面白く、たくさんのことを学びました。お茶大の先生と指導教官と国際課の職員たちは、いつも親切に教えてくださって、ありがとうございます。特に、松田先生と萩原先生と大野さん、ありがとうございます。4 月に学び続けるのが待ちきれません。